


**海外感染症情報**

情報源：  
厚生労働省検疫所ホームページ  
(<http://www.forth.go.jp>) 新着情報

発生地域	更新年月日	情報内容
アフリカ	2014年11月17日	エボラ対応に関するロードマップ（更新12）
アフリカ	2014年11月17日	南スーダンおよびマダガスカルにおけるポリオ発生状況について
アフリカ	2014年11月14日	ウガンダでのマールブルグ病の終息宣言
—	<b>2014年11月14日</b>	<b>レジオネラ症の流行 - ポルトガル ★</b>
中南米	2014年11月14日	アメリカ大陸でのコレラの流行状況

### ★【2014年11月14日更新 レジオネラ症の流行 - ポルトガル】

2014年11月13日付けで WHO から公表された情報によりますと、リスボンの郊外、Vila Franca de Xira（ビラ・フランカ・デ・シーラ）においてレジオネラ症が大流行したことが国際保健規則（IHR）ポルトガル担当者から報告されました。

最初は17症例が11月6 - 7日にかけて確認されました。それ以来、症例数は指数関数的に増加しています。11月12日には、ポルトガルの健康政策総局が302例のレジオネラ症を報告しました。これまでに、5人が疾患を引き金に死亡したことが確認されています。さらに4人の死亡が調査されているところです。すべてビラ・フランカ・デ・シーラで発生している流行と疫学的に関係があります。

これは、ポルトガルで発生した過去最大のレジオネラ症集団発生であり、急速に拡大しています。そのため、この流行は公衆衛生上の緊急事態であるとみられています。

現時点では、地方の流行調査チームが設置され、疫学、細菌学、環境医学の専門家からなる広域行政チームによって支援体制が整えられています。

#### 【予防対策】

予防の方法として、流行地での観賞用の噴水が止められ、水道水の塩素濃度を高めています。流行地における主要な産業施設の冷却塔が閉鎖されています。

流行の発生源を特定し解除されるまで、ポルトガルの健康政策総局は、住民に以下の予防対策の勧告を発令しています：

- シャワー、ジャグジーやジェット・バスを避ける
- 週に一回、約30分間、漂白剤溶液に浸すことにより、シャワーの先を消毒する
- 可能ならば、給湯器は75℃以上の温度に設定する